

第1回みえ県民意識調査 結果の概要

2012年5月23日

第1回三重県経営戦略会議



三重県

目次

[頁]

1 調査の概要	2
2 調査結果の主な内容	
2-1 日ごろ感じている幸福感	
(1) 幸福感	3
(2) 幸福感を判断する際に重視した事項	11
2-2 地域や社会の状況に対する実感	
(1) 全体	19
(2) 地域別	20
(3) 「実感している層」の割合が高い項目(地域別)	22
(4) 「実感していない層」の割合が高い項目(地域別)	26
2-3 日ごろの暮らしの実感	
(1) 全体	31
(2) 地域別	32

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

おおむね10年先を見据えた県の戦略計画である「みえ県民力ビジョン」において、『県民力でめざす「幸福実感日本一」の三重』を基本理念として掲げたことから、県民の皆さんの幸福感についての意識や、現在の暮らしや社会の状況に対する実感などについて把握するため、実施。

(2) 調査期間 平成24年1月19日～2月16日

(3) 調査方法

県内に居住する20歳以上の男女10,000人に郵送アンケート

(4) 有効回答者 5,710人(有効回答率57.1%)

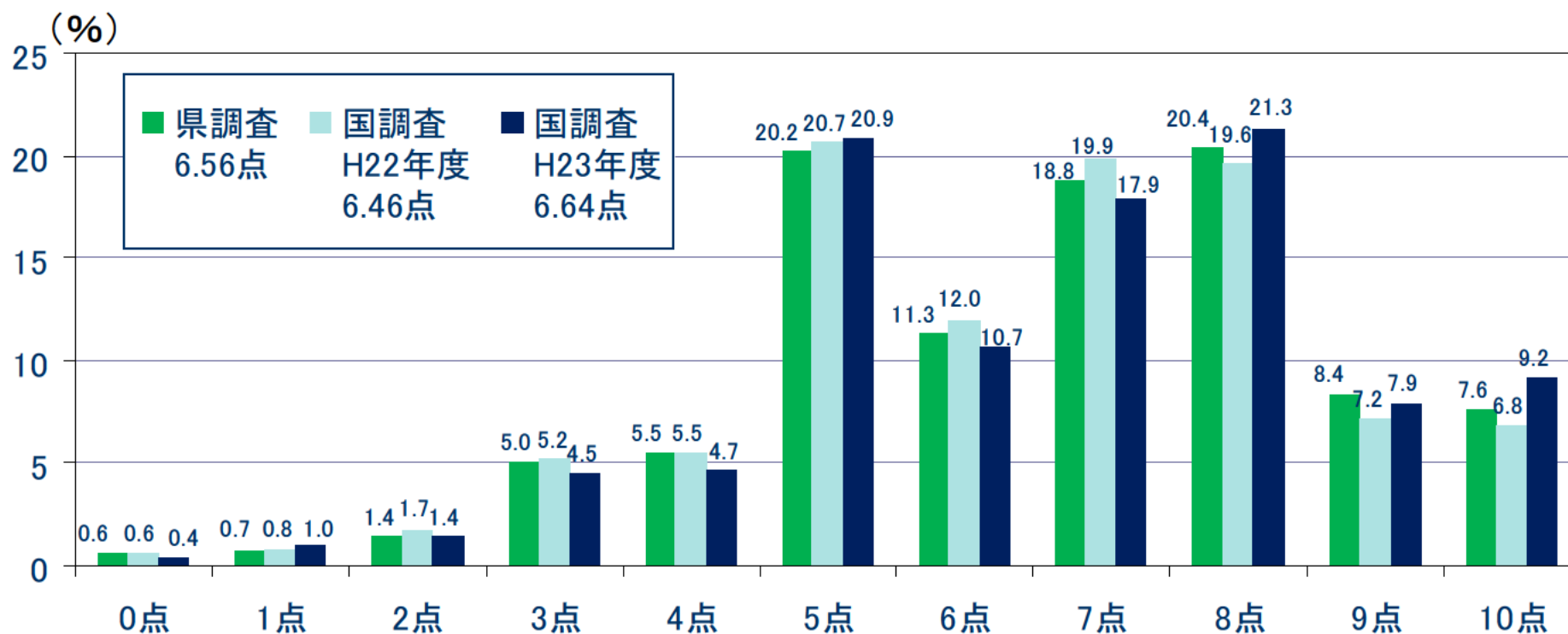
2. 調査結果の主な内容

2-1 日ごろ感じている幸福感

(1) 幸福感

① 全体(国調査との比較)

・ 県民の幸福感の平均値は6.56点と国の調査と比較するとほぼ同様の結果。県は8点と回答した人の割合が最も高い。

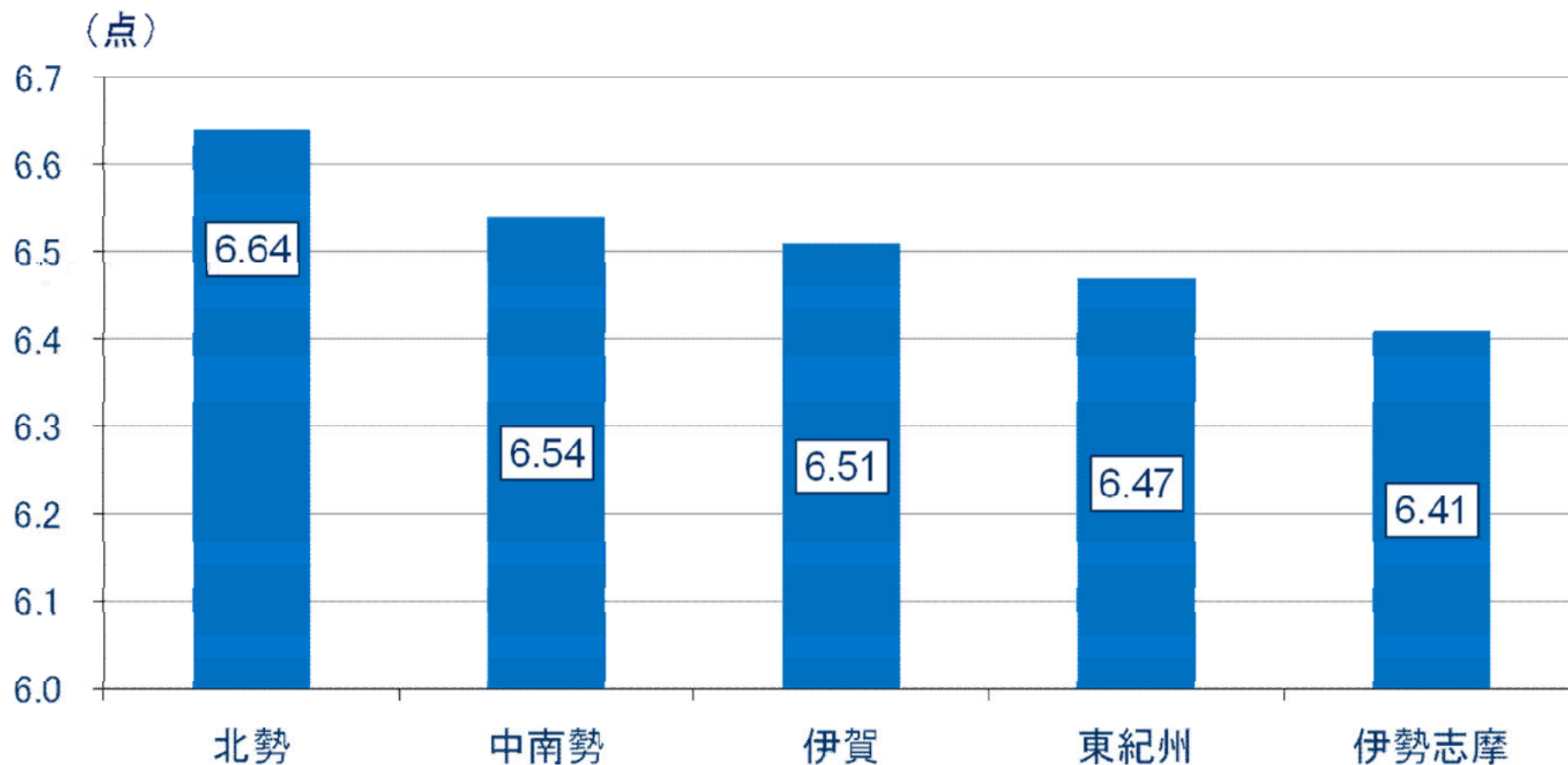


※ 国調査:平成22年度国民生活選好度調査(内閣府)、平成23年度第1回生活の質に関する調査(内閣府経済社会総合研究所)

2-1(1) 幸福感

② 地域別

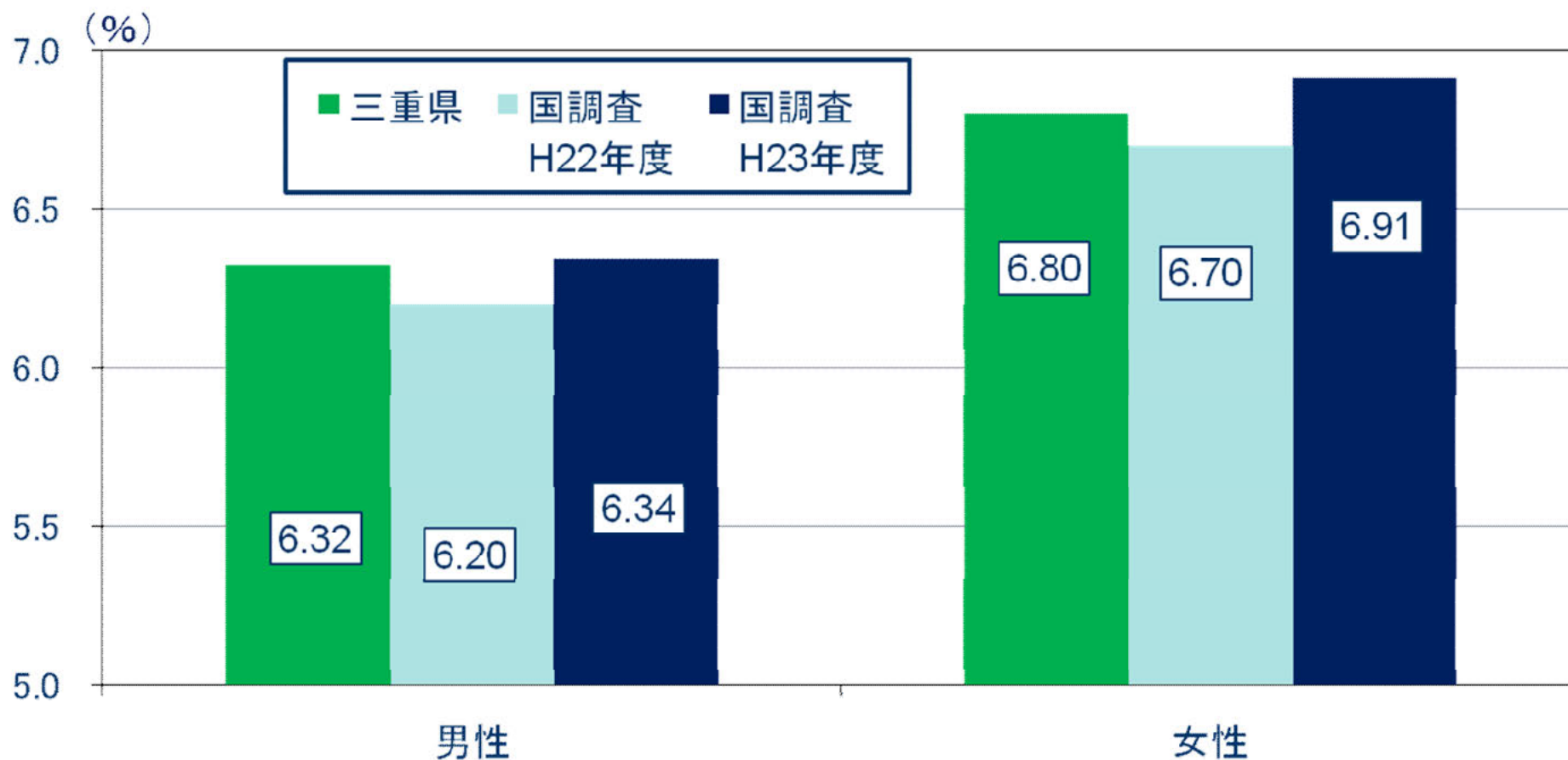
- ・ 県民の幸福感の平均値を地域別にみると、北勢（6.64点）が最も高く、次いで中南勢（6.54点）、伊賀（6.51点）、東紀州（6.47点）と続き、伊勢志摩（6.41）が最も低い。



2-1(1) 幸福感

③ 性別

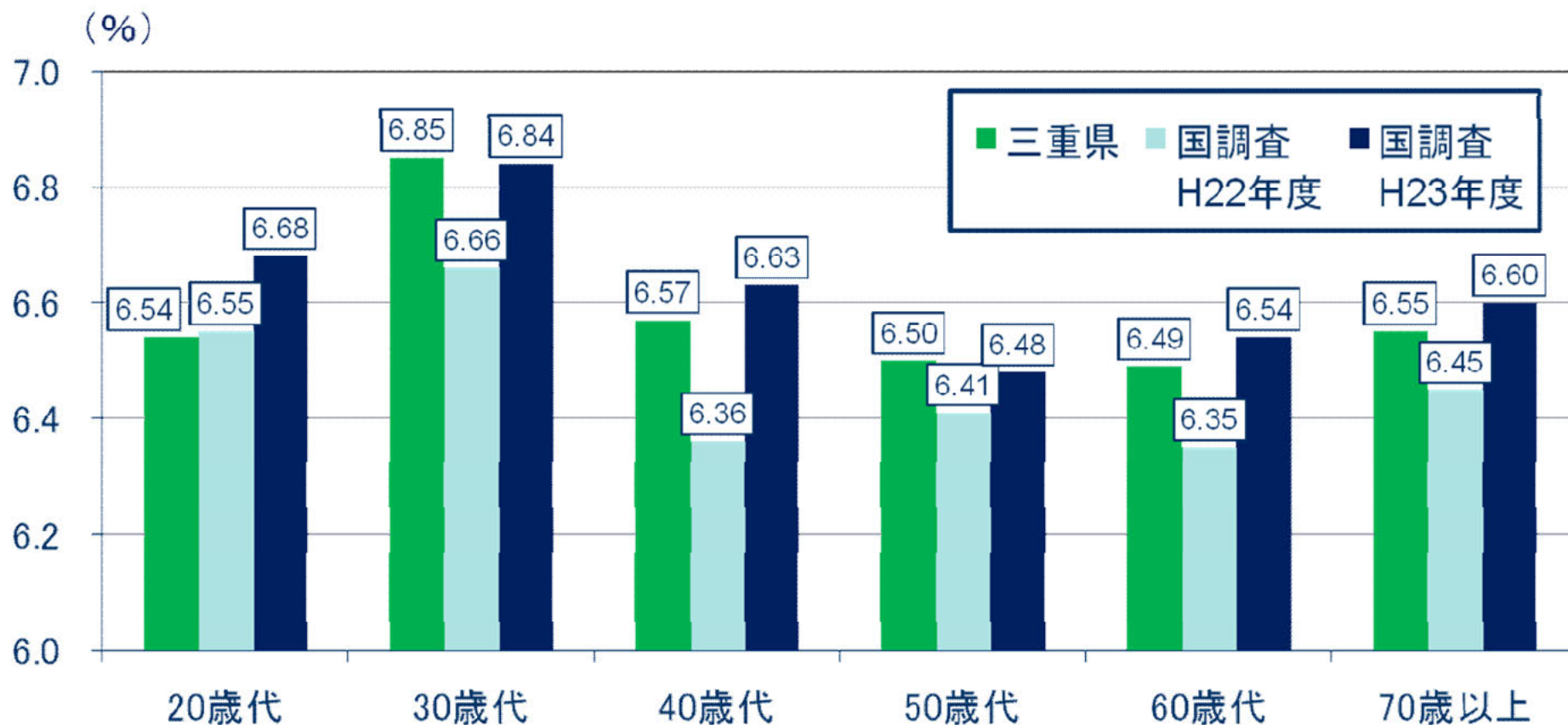
- ・ 県民の幸福感の平均値を性別にみると、女性（6.80点）が男性（6.32点）よりも高い。国の調査においても、同様の傾向。



2-1(1) 幸福感

④ 年代別

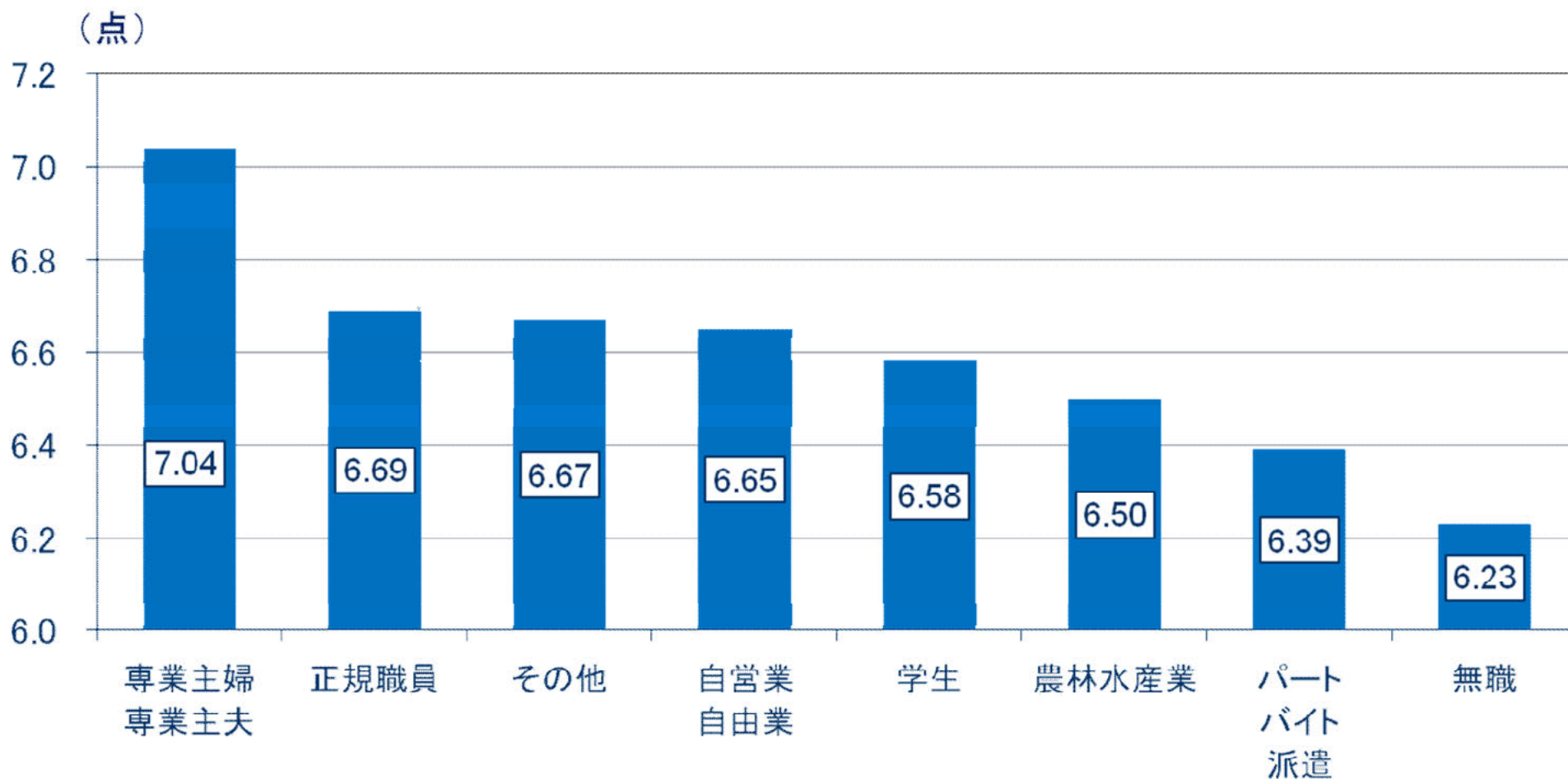
- ・ 県民の幸福感の平均値を年代別にみると、30歳代（6.85点）が最も高い。国の調査においても、同様の傾向。



2-1(1) 幸福感

⑤ 主な職業別

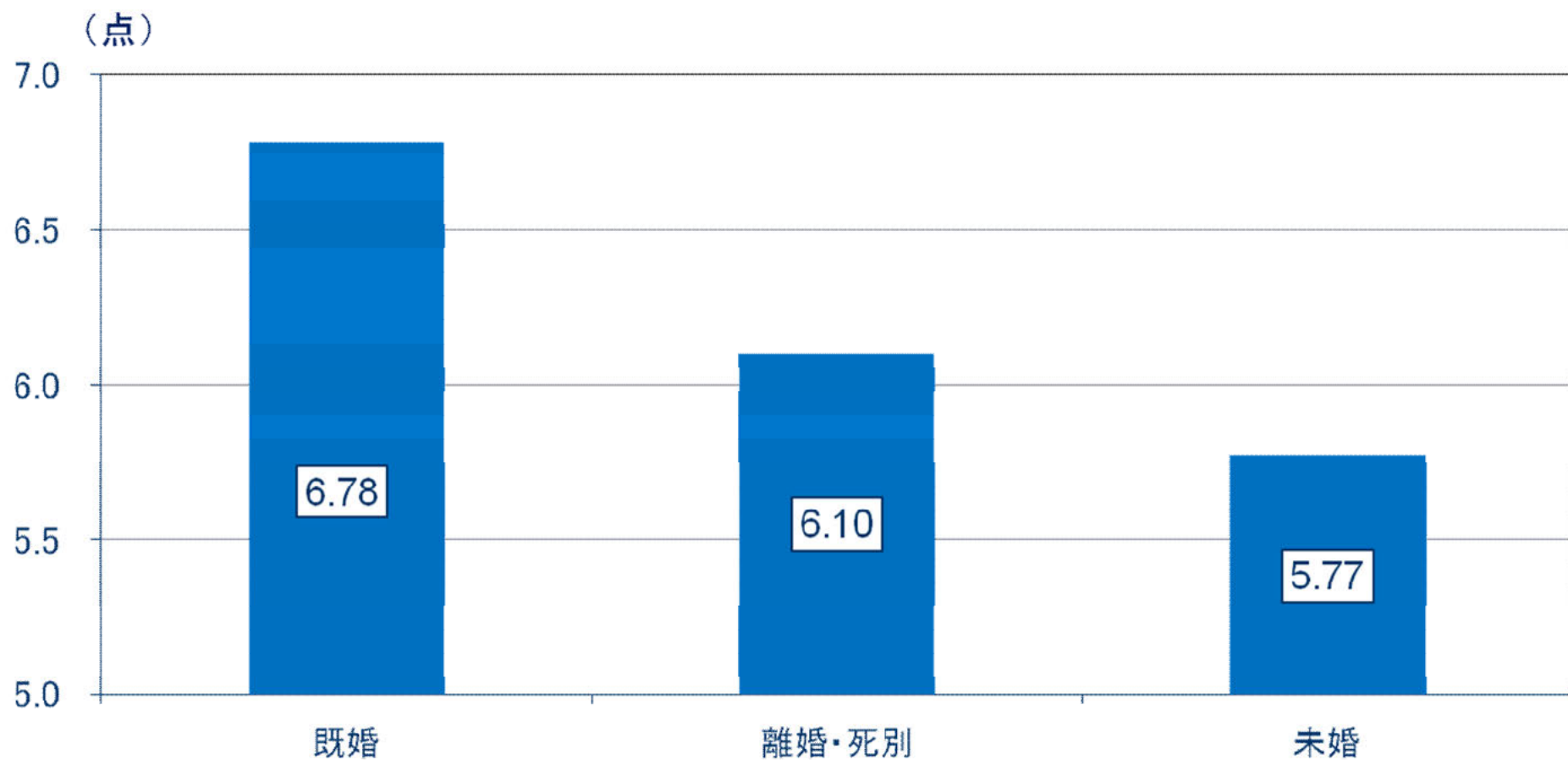
- ・ 県民の幸福感の平均値を主な職業別にみると、専業主婦・主夫（7.04点）が最も高く、次いで正規職員（6.69点）となっており、無職（6.23点）が最も低い。



2-1(1) 幸福感

⑥ 結婚別

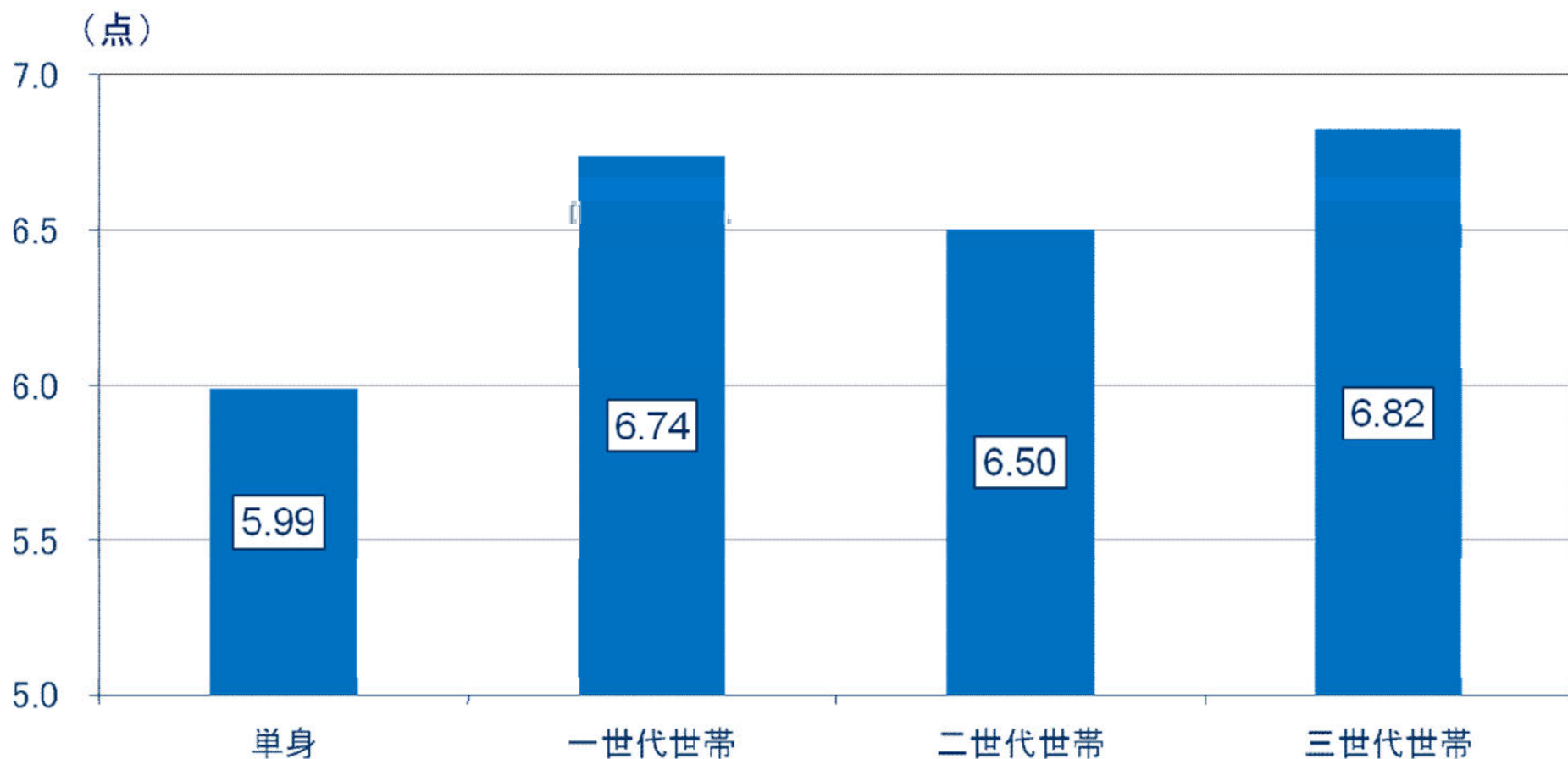
- ・ 県民の幸福感の平均値を結婚別にみると、既婚（6.78点）が最も高く、次いで離婚・死別（6.10点）となり、未婚（5.77点）が最も低い。



2-1(1) 幸福感

⑦ 世帯構成別

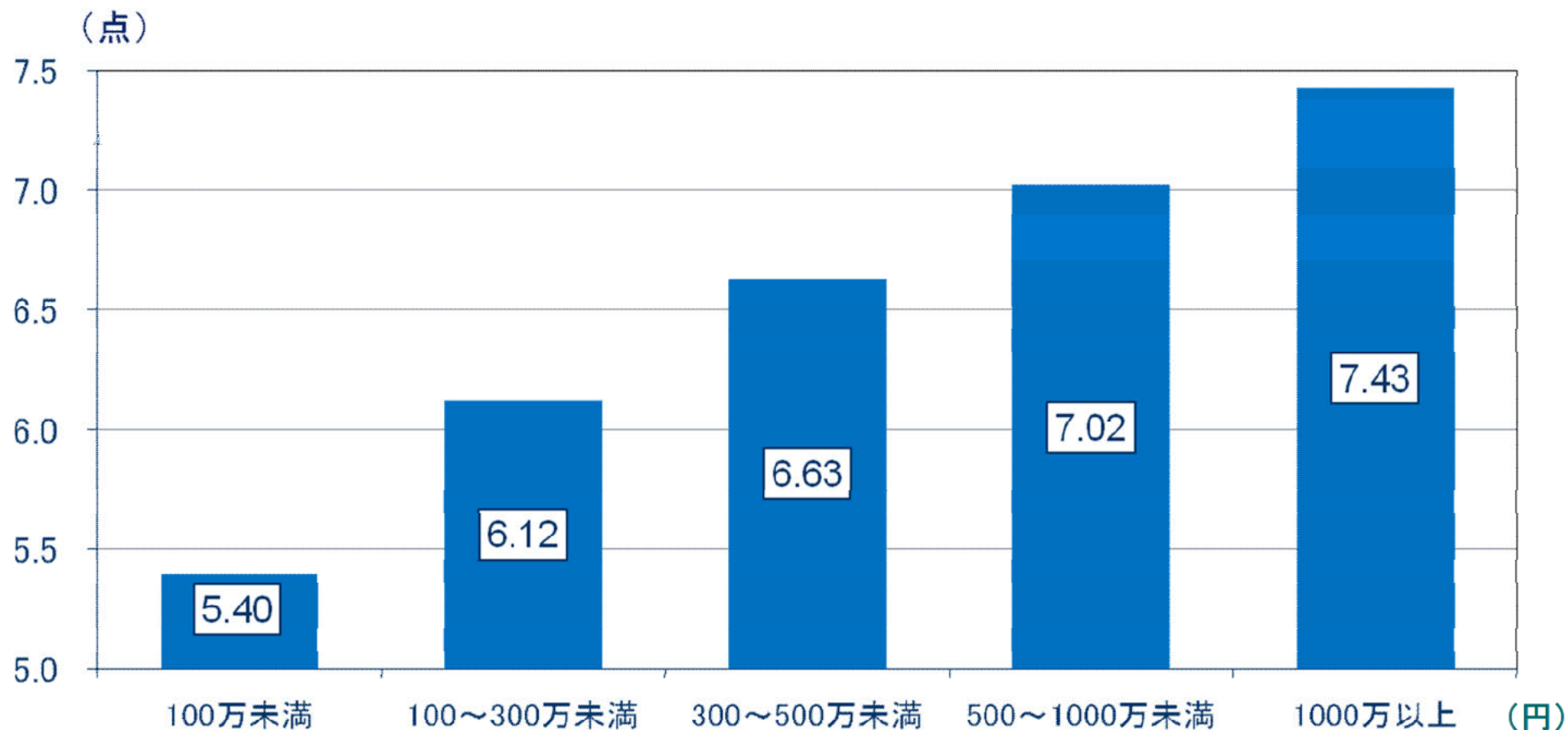
- ・ 県民の幸福感の平均値を世帯構成別にみると、三世代世帯（6.82点）が最も高く、次いで一世代世帯（6.74点）となり、単身（5.99点）が最も低い。



2-1(1) 幸福感

⑧ 世帯全体の年間収入別

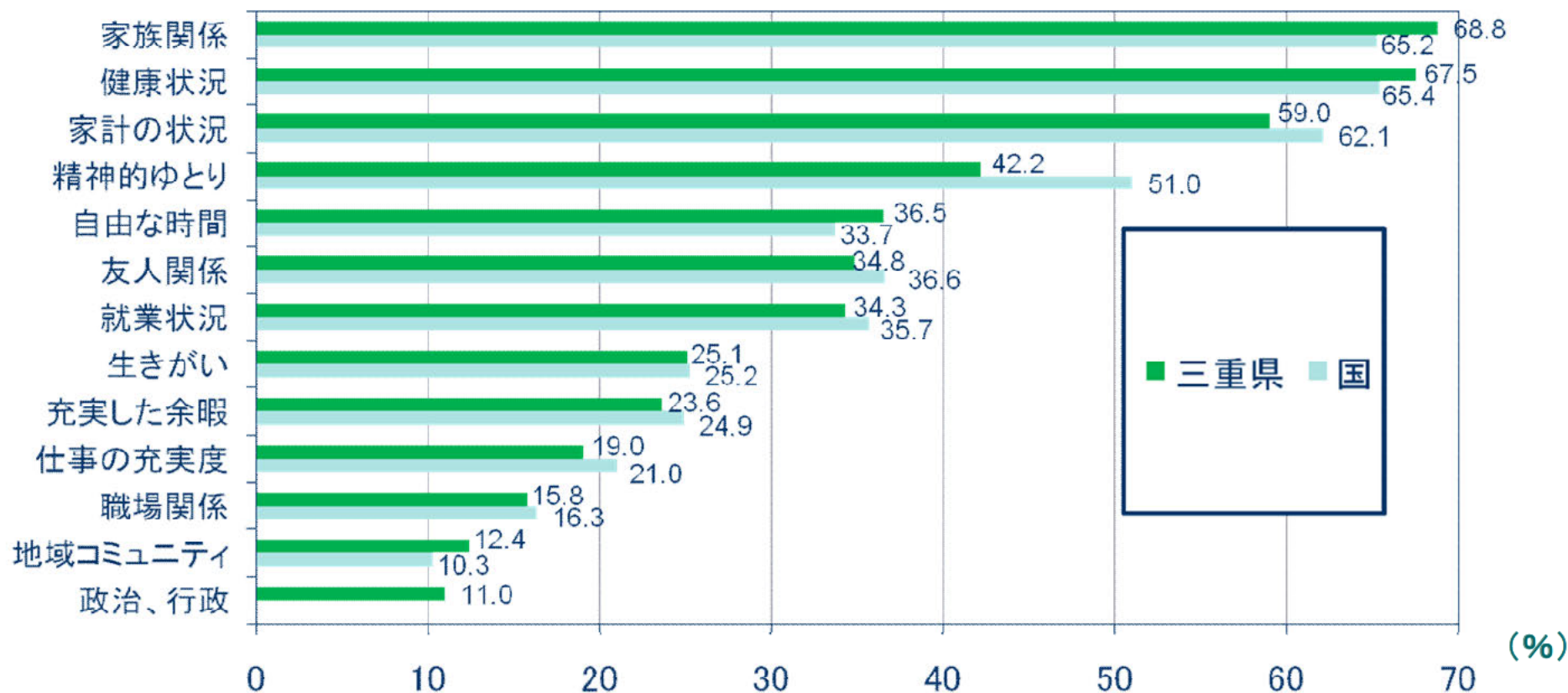
- ・ 県民の幸福感の平均値を世帯全体の年間収入別にみると、年間収入額が高くなるほど平均値も高い。1,000万円以上（7.43点）が最も高く、100万円未満（5.40点）が最も低い。



2-1(2) 幸福感を判断する際に重視した事項

① 国の調査(平成22年度国民生活選好度調査)との比較

- 幸福感を判断する際に重視した事項では「家族関係」(68.8%)が最も高く、次いで「健康状況」(67.5%)、「家計の状況」(59.0%)となっている。国の調査と比較すると、大きな差はみられないが、「家計の状況」、「精神的ゆとり」などの割合は国の調査よりやや低い。



2-1(2) 幸福感を判断する際に重視した事項

② 地域別

- ・ 幸福感を判断する際に重視した事項を地域別にみると、全ての地域で「家族関係」が最も高く、次いで「健康状況」、「家計の状況」となっており、特に大きな差はない。

(単位:%)

地域	1位	2位	3位	4位	5位
北勢	家族関係 68.7	健康状況 67.6	家計の状況 60.2	精神的ゆとり 43.6	友人関係 35.7
伊賀	家族関係 71.2	健康状況 70.9	家計の状況 57.1	精神的ゆとり 40.6	自由な時間 36.8
中南勢	家族関係 69.4	健康状況 68.1	家計の状況 59.8	精神的ゆとり 40.7	自由な時間 38.1
伊勢志摩	家族関係 65.6	健康状況 64.6	家計の状況 54.5	精神的ゆとり 42.2	自由な時間 37.9
東紀州	家族関係 72.1	健康状況 65.1	家計の状況 60.9	精神的ゆとり 40.9	自由な時間 40.5

2-1(2) 幸福感を判断する際に重視した事項

③ 性別

- 幸福感を判断する際に重視した事項を性別にみると、男性は「健康状況」(67.0%)が最も高く、次いで「家族関係」(65.6%)となる一方、女性は「家族関係」(71.8%)が最も高く、次いで「健康状況」(68.2%)となっている。

(単位:%)

性別	1位	2位	3位	4位	5位
男性	健康状況 67.0	家族関係 65.6	家計の状況 60.1	精神的ゆとり 41.0	就業状況 37.3
女性	家族関係 71.8	健康状況 68.2	家計の状況 58.4	精神的ゆとり 43.6	友人関係 41.2

2-1(2) 幸福感を判断する際に重視した事項

④ 年代別

- 幸福感を判断する際に重視した事項を年代別にみると、50歳代以下の年代では「家族関係」、60歳代以上の年代では「健康状況」が最も高い。また、20歳代では「友人関係」、40歳代では「家計の状況」が2位となっている。

(単位:%)

年代	1位	2位	3位	4位	5位
20歳代	家族関係 60.5	友人関係 52.0	家計の状況 49.3	健康状況 49.1	精神的ゆとり 47.7
30歳代	家族関係 74.2	健康状況 62.2	家計の状況 61.0	就業状況 45.3	精神的ゆとり 43.2
40歳代	家族関係 72.6	家計の状況 69.0	健康状況 68.5	就業状況 50.7	精神的ゆとり 40.3
50歳代	家族関係 71.1	健康状況 69.5	家計の状況 68.4	就業状況 49.2	精神的ゆとり 42.5
60歳代	健康状況 71.1	家族関係 66.7	家計の状況 59.8	精神的ゆとり 44.9	自由な時間 37.7
70歳以上	健康状況 70.7	家族関係 66.0	自由な時間 51.4	家計の状況 45.7	友人関係 39.3

2-1(2) 幸福感を判断する際に重視した事項

⑤ 主な職業別

- ・ 幸福感を判断する際に重視した事項を主な職業別にみると、農林水産業、自営業・自由業、無職で「健康状況」が、正規職員、パート・バイト・派遣、専業主婦・主夫で「家族関係」、学生で「友人関係」が最も高い。

主な職業	1位	2位	3位	4位	5位
農林水産業	健康状況 69.3	家族関係 67.3	家計の状況 51.7	精神的ゆとり 40.5	自由な時間 35.6
自営業・自由業	健康状況 69.0	家族関係 68.4	家計の状況 60.1	就業状況 42.5	精神的ゆとり 42.0
正規職員	家族関係 70.0	健康状況 66.8	家計の状況 66.6	就業状況 53.6	精神的ゆとり 41.4
パート・バイト・派遣	家族関係 66.8	健康状況 65.3	家計の状況 62.1	就業状況 48.2	精神的ゆとり 39.9
専業主婦・主夫	家族関係 78.8	健康状況 72.1	家計の状況 60.6	精神的ゆとり 46.1	自由な時間 43.8
学生	友人関係 67.5	家族関係 64.9	精神的ゆとり 59.7	自由な時間 55.8	健康状況 51.9
無職	健康状況 69.1	家族関係 64.1	自由な時間 50.1	家計の状況 49.7	精神的ゆとり 43.1
その他	家族関係 64.7	健康状況 64.0	家計の状況 58.0	精神的ゆとり 39.3	就業状況 36.7

(単位:%)

2-1(2) 幸福感を判断する際に重視した事項

⑥ 結婚別

- ・ 幸福感を判断する際に重視した事項を結婚別にみると、いずれの属性でも「健康状況」「家族関係」「家計の状況」が上位3項目となっており、既婚は「家族関係」が特に高くなっている。

(単位:%)

結婚	1位	2位	3位	4位	5位
未婚	健康状況 57.8	家計の状況 55.3	家族関係 49.3	精神的ゆとり 48.4	就業状況 48.0
既婚	家族関係 73.8	健康状況 69.9	家計の状況 61.4	精神的ゆとり 41.5	自由な時間 34.5
離婚・死別	健康状況 64.0	家族関係 58.6	家計の状況 50.7	自由な時間 44.8	精神的ゆとり 42.2

2-1(2) 幸福感を判断する際に重視した事項

⑦ 世帯構成別

- 幸福感を判断する際に重視した事項を世帯構成別にみると、単身世帯を除く全ての世帯構成で「家族関係」が最も高くなっている。単身世帯では「健康状況」が最も高い。

(単位:%)

世帯構成	1位	2位	3位	4位	5位
単身世帯	健康状況 67.0	家計の状況 51.7	自由な時間 47.8	精神的ゆとり 47.0	家族関係 43.8
一世代世帯	家族関係 70.8	健康状況 70.6	家計の状況 59.3	精神的ゆとり 43.0	自由な時間 41.4
二世帯世帯	家族関係 69.2	健康状況 66.2	家計の状況 61.2	精神的ゆとり 41.9	就業状況 40.3
三世帯世帯	家族関係 77.2	健康状況 67.8	家計の状況 57.3	精神的ゆとり 39.9	友人関係 37.7
その他	家族関係 65.0	健康状況 56.3	家計の状況 53.8	精神的ゆとり 47.5	自由な時間 36.3

2-1(2) 幸福感を判断する際に重視した事項

⑧ 世帯全体の年間収入別

- ・ 幸福感を判断する際に重視した事項を世帯年収別にみると、300万円未満の階層で「健康状況」、300万円以上の階層で「家族関係」が最も高い。

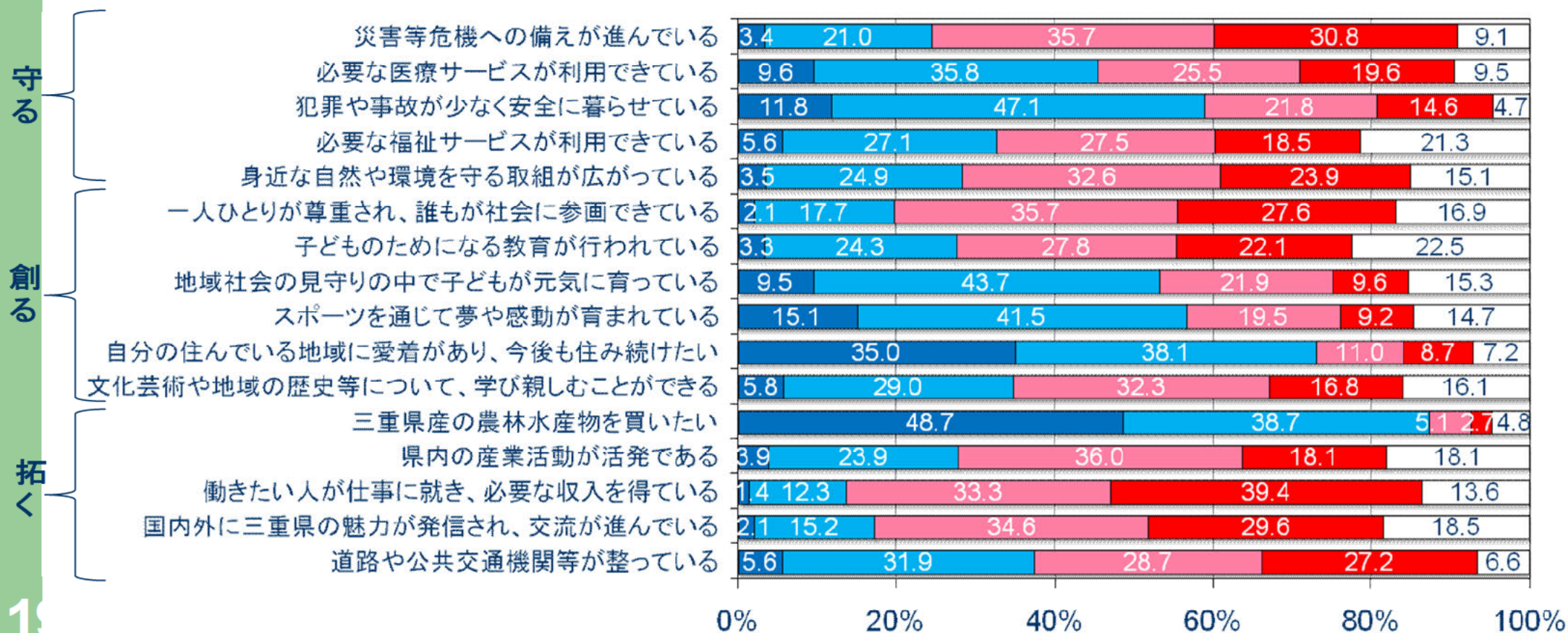
(単位:%)

世帯年間収入	1位	2位	3位	4位	5位
100万円未満	健康状況 59.5	家族関係 50.5	家計の状況 44.2	自由な時間 40.8	精神的ゆとり 37.8
100～300万円 未満	健康状況 65.9	家族関係 61.4	家計の状況 52.3	精神的ゆとり 41.3	自由な時間 38.9
300～500万円 未満	家族関係 71.6	健康状況 67.8	家計の状況 59.6	精神的ゆとり 44.2	自由な時間 37.1
500～1,000万円 未満	家族関係 76.2	健康状況 69.8	家計の状況 68.0	就業状況 46.8	精神的ゆとり 41.5
1,000万円以上	家族関係 78.3	健康状況 75.9	家計の状況 75.1	就業状況 51.2	精神的ゆとり 45.0
わからない	家族関係 64.3	健康状況 62.4	自由な時間 51.7	友人関係 48.7	家計の状況 精神的ゆとり 43.7

2-2 地域や社会の状況に対する実感

(1) 全体

- ・ 実感している層の割合（感じる＋どちらかといえば感じる）は「三重県の農林水産物を買いたい」（87.4%）が最も高い一方で、実感していない層の割合（感じない＋どちらかといえば感じない）は「働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ている」（72.7%）が最も高い。



2-2 地域や社会の状況に対する実感

(2) - ① 地域別・実感している層 (感じている+どちらかといえば感じている)

- ・ 実感している層の割合 (感じる+どちらかといえば感じる) を地域別にみると、全ての地域で「三重県産の農林水産物を買いたい」が最も高い。また、順位の違いはあるが上位5項目が同じとなった。

(単位: %)

地域	1位	2位	3位	4位	5位
北勢	三重県の農林水産物を買いたい 87.0	自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたい 74.1	スポーツを通じて夢や感動が育まれている 58.5	犯罪や事故が少なく、安全に暮らせている 56.2	地域社会の見守りの中で、子供が元気に育っている 52.6
伊賀	三重県の農林水産物を買いたい 87.1	自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたい 67.5	犯罪や事故が少なく、安全に暮らせている 61.9	地域社会の見守りの中で、子供が元気に育っている 55.2	スポーツを通じて夢や感動が育まれている 53.6
中南勢	三重県の農林水産物を買いたい 87.1	自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたい 73.2	犯罪や事故が少なく、安全に暮らせている 57.6	スポーツを通じて夢や感動が育まれている 54.3	地域社会の見守りの中で、子供が元気に育っている 53.3
伊勢志摩	三重県の農林水産物を買いたい 89.2	自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたい 73.6	犯罪や事故が少なく、安全に暮らせている 63.3	スポーツを通じて夢や感動が育まれている 57.2	地域社会の見守りの中で、子供が元気に育っている 52.5
東紀州	三重県の農林水産物を買いたい 87.1	犯罪や事故が少なく安全に暮らせている 73.7	自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたい 73.2	スポーツを通じて夢や感動が育まれている 56.3	地域社会の見守りの中で、子供が元気に育っている 55.3

2-2 地域や社会の状況に対する実感

(2)-② 地域別・実感していない層(感じていない+どちらかといえば感じていない)

- ・ **実感していない層(感じない+どちらかといえば感じない)の割合を地域別にみると、全ての地域で「働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ている」が最も高い。**

(単位:%)

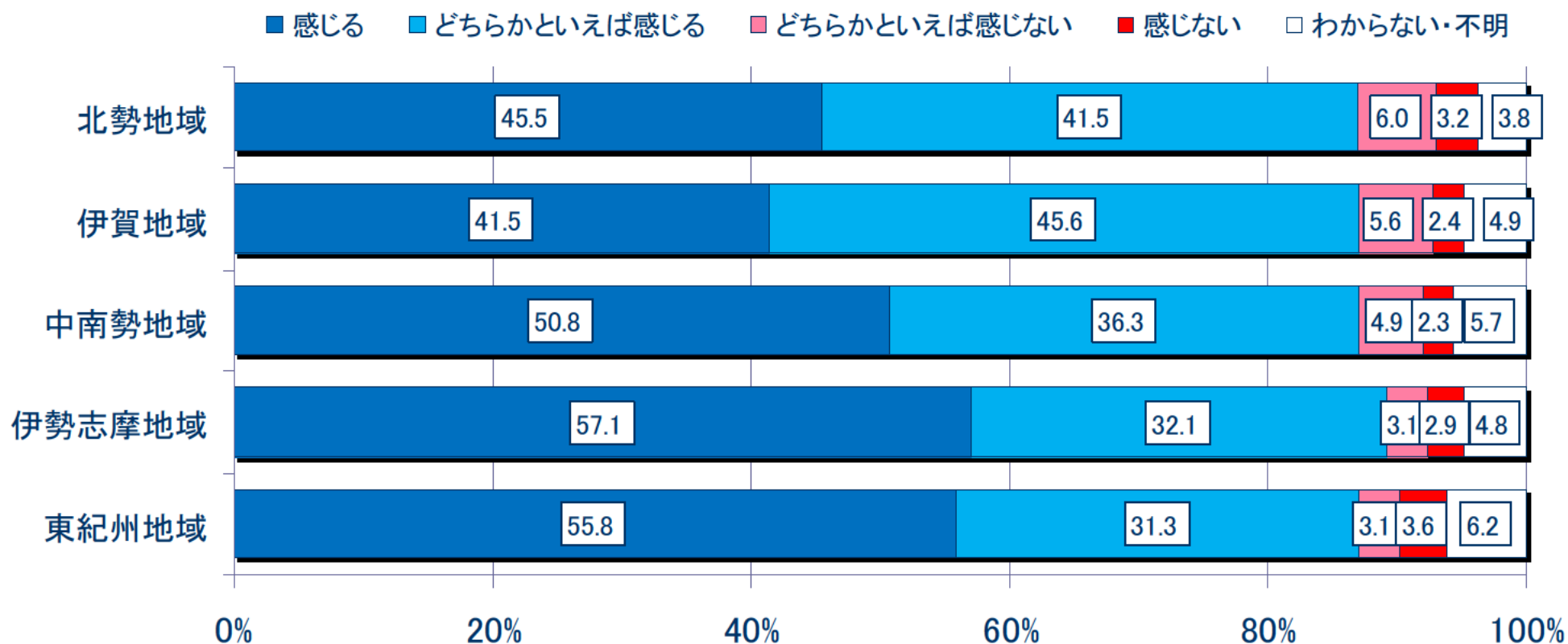
地域	1位	2位	3位	4位	5位
北勢	働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ている 71.3	災害等の危機への備えが進んでいる 69.1	国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいる 65.4	一人ひとりが尊重され、誰もが社会に参画できている 64.9	身近な自然や環境を守る取組が広がっている 57.5
伊賀	働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ている 74.2	道路や公共交通機関等が整っている 68.1	国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいる 66.5	災害等の危機への備えが進んでいる 64.5	必要な医療サービスが利用できている 62.2
中南勢	働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ている 70.9	災害等の危機への備えが進んでいる 65.0	一人ひとりが尊重され、誰もが社会に参画できている 62.2	国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいる 61.8	身近な自然や環境を守る取組が広がっている 56.7
伊勢志摩	働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ている 78.9	国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいる 64.8	災害等の危機への備えが進んでいる 64.2	一人ひとりが尊重され、誰もが社会に参画できている 62.1	道路や公共交通機関等が整っている 61.1
東紀州	働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ている 78.2	道路や公共交通機関等が整っている 76.4	一人ひとりが尊重され、誰もが社会に参画できている 62.0	国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいる 61.2	県内の産業活動が活発である 59.9

2-2 地域や社会の状況に対する実感

(3) 「実感している層」の割合が高い項目(地域別)

① 「三重県産の農林水産物を買いたい」

- 全ての地域で実感している層（感じる+どちらかといえば感じる）の割合が87%以上と高くなっている。

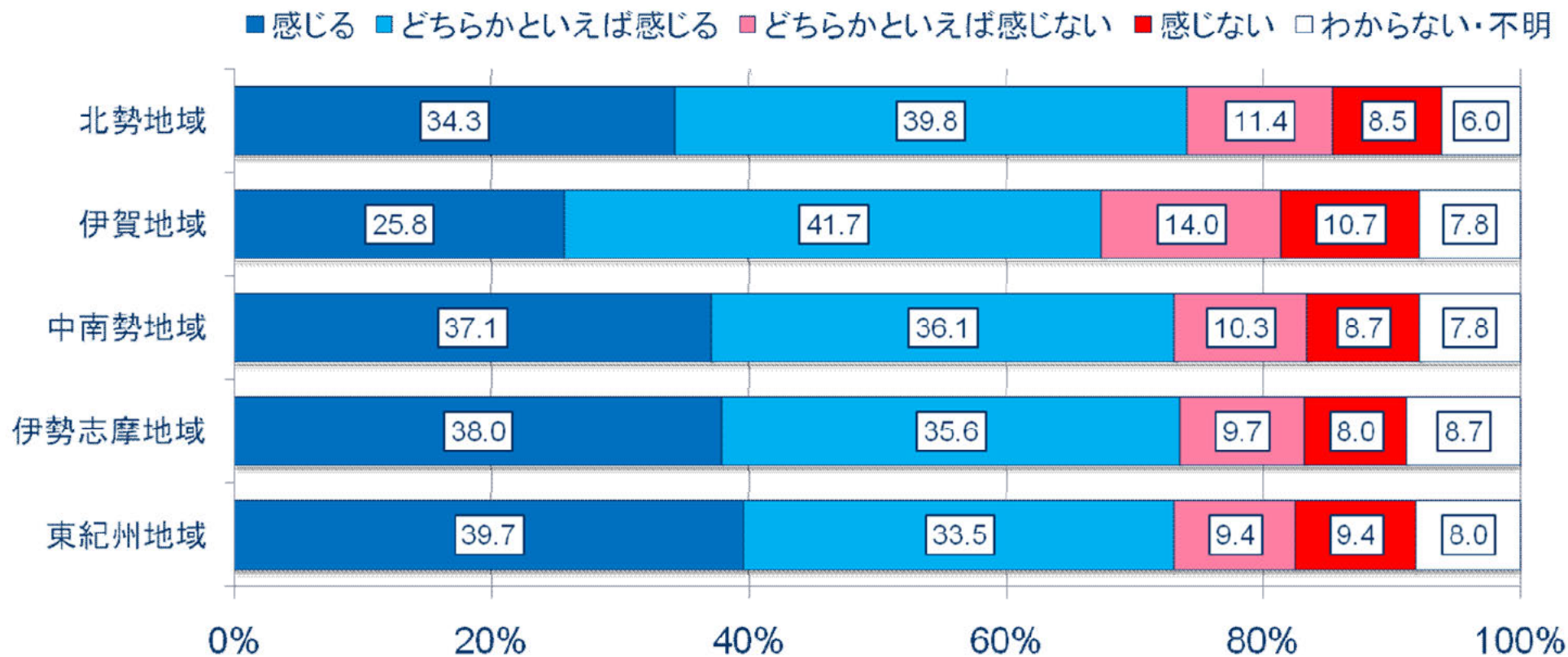


2-2 地域や社会の状況に対する実感

(3) 「実感している層」の割合が高い項目(地域別)

② 「自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたい」

- 全ての地域で実感している層(感じる+どちらかといえば感じる)の割合が高いが、伊賀では67.5%とやや低い。

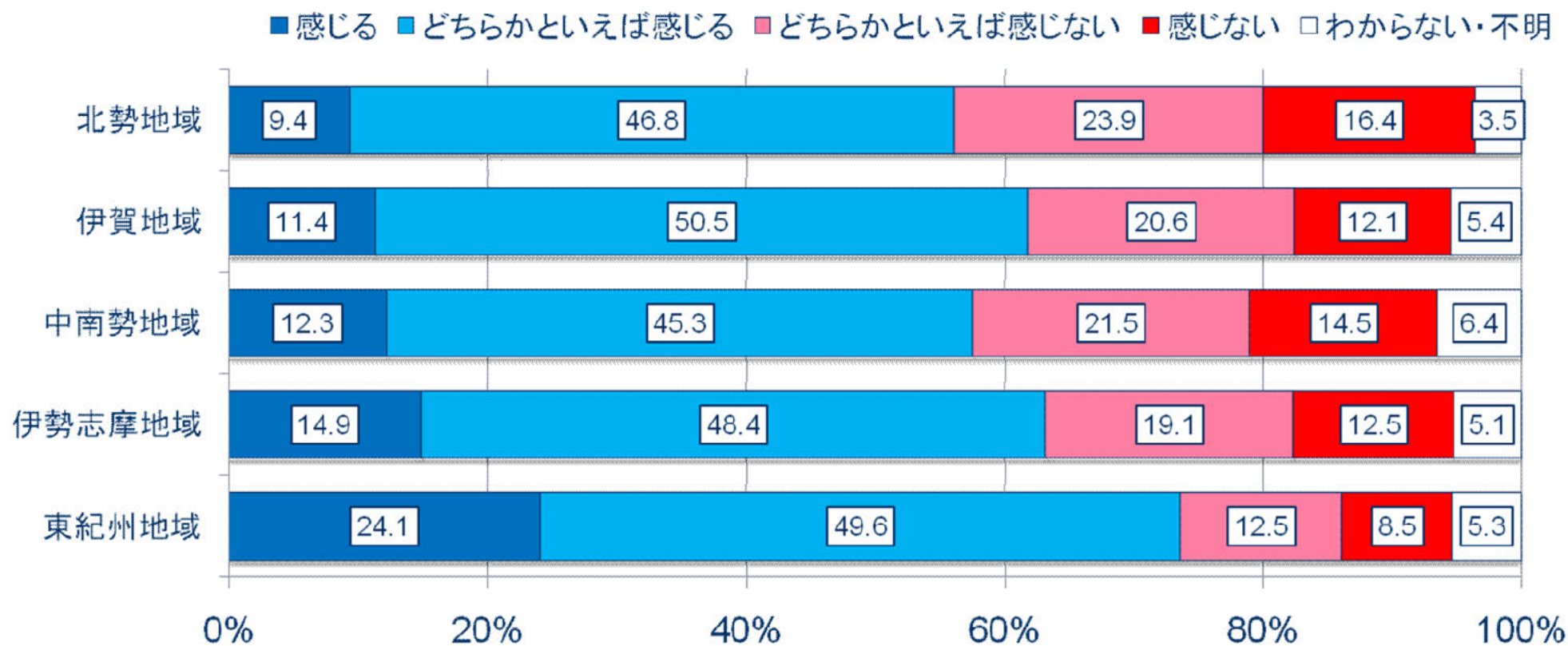


2-2 地域や社会の状況に対する実感

(3) 「実感している層」の割合が高い項目(地域別)

③ 「犯罪や事故が少なく、安全に暮らせている」

- 全ての地域で実感している層（感じる+どちらかといえば感じる）の割合が高く、東紀州は73.7%と最も高い。

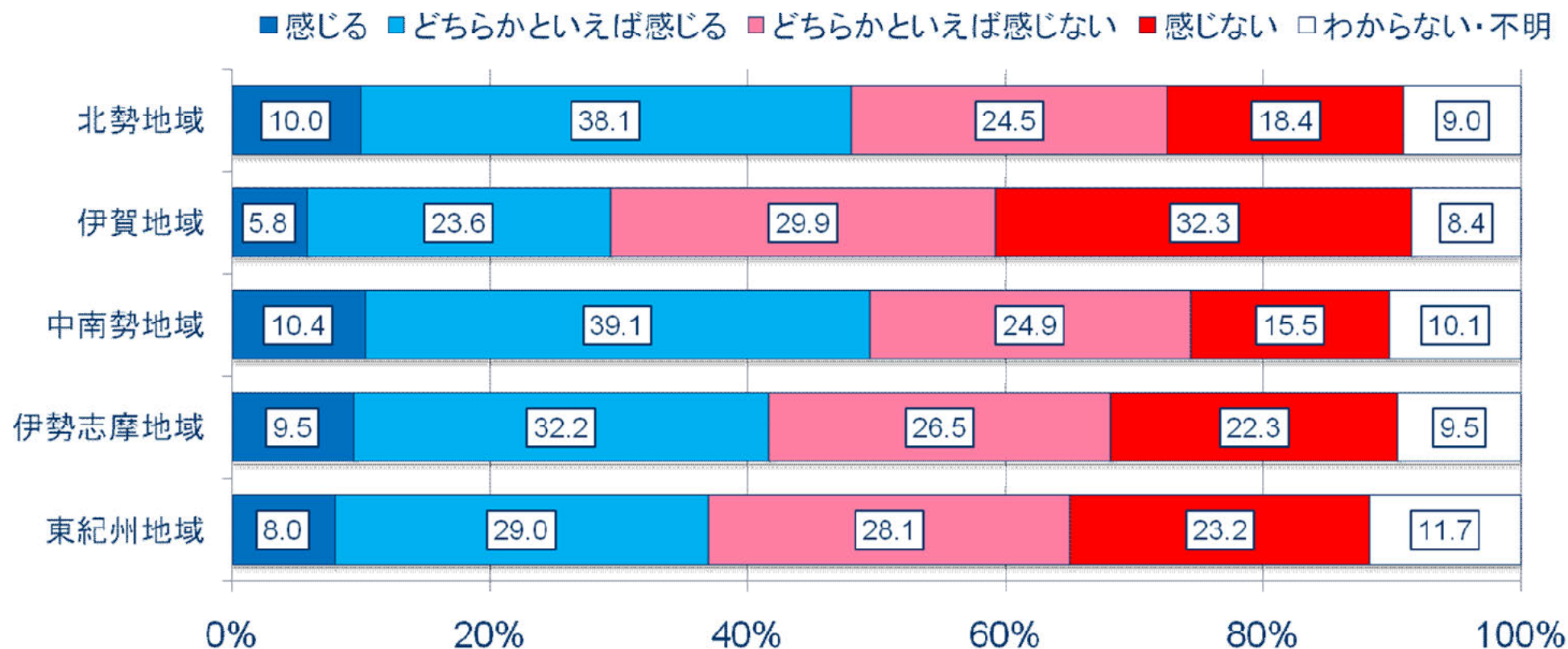


2-2 地域や社会の状況に対する実感

(3) 「実感している層」の割合が高い項目(地域別)

④ 「必要な医療サービスが利用できている」

・特に中南勢と北勢において実感している層(感じる+どちらかといえば感じる)の割合が高い。

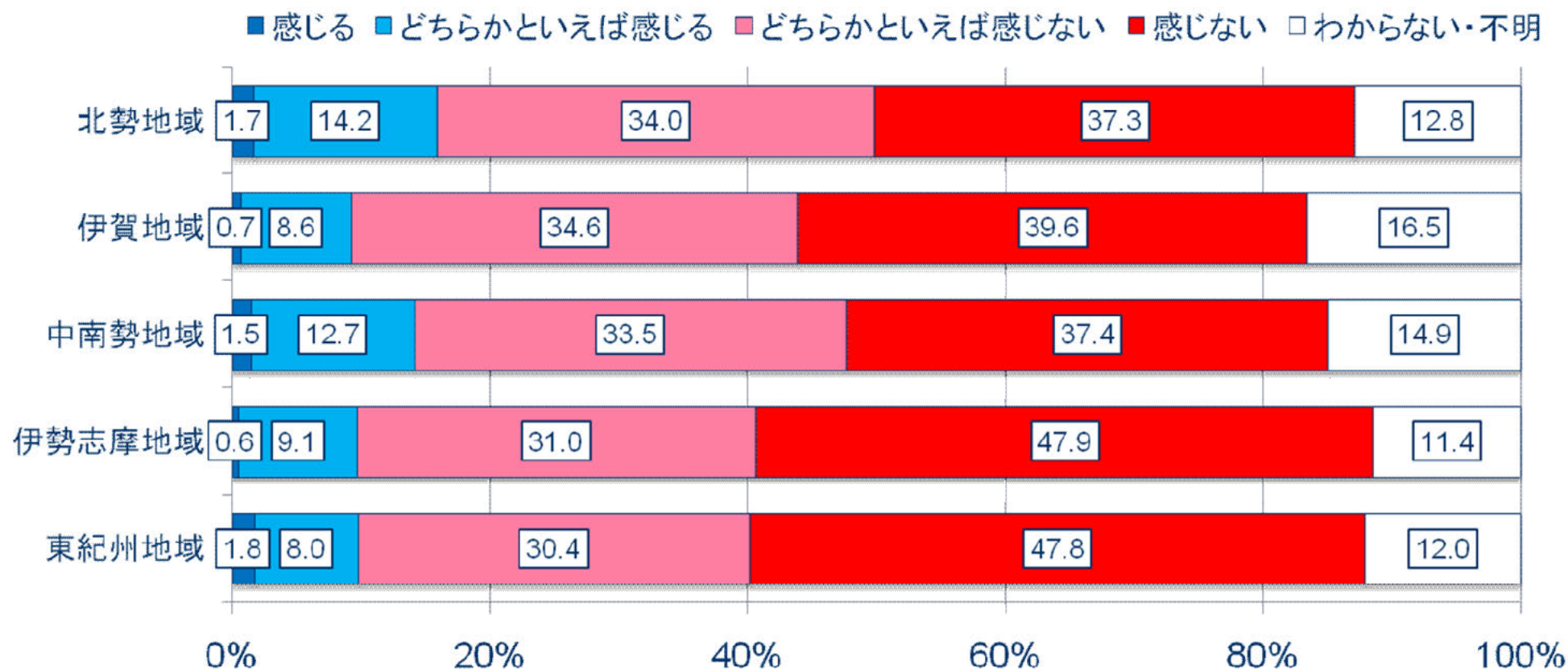


2-2 地域や社会の状況に対する実感

(4) 「実感していない層」の割合が高い項目(地域別)

① 「働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ている」

- 全ての地域で実感していない層(感じない+どちらかといえば感じない)の割合が70%以上と高くなっている。

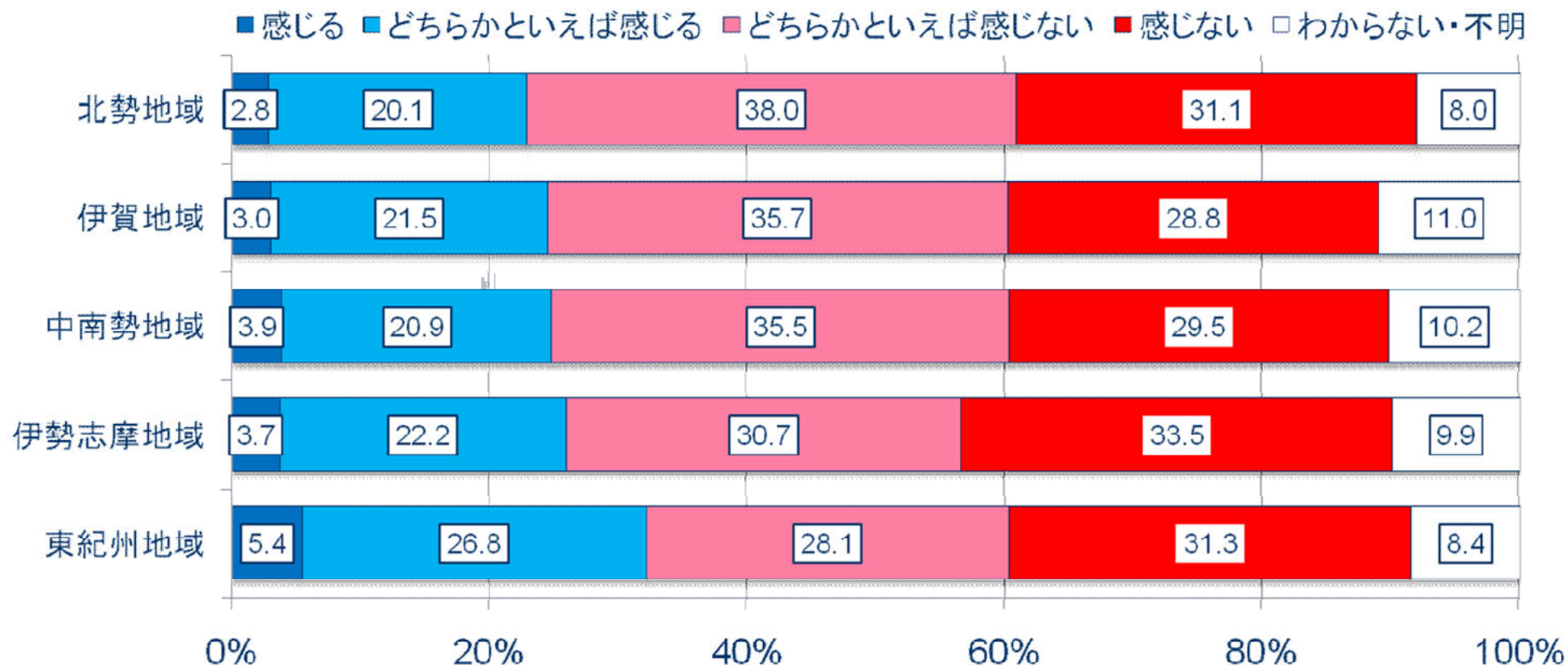


2-2 地域や社会の状況に対する実感

(4) 「実感していない層」の割合が高い項目(地域別)

② 「災害等の危機への備えが進んでいる」

- 全ての地域で実感していない層(感じない+どちらかといえば感じない)の割合が高く、特に北勢では69.1%と最も高い。

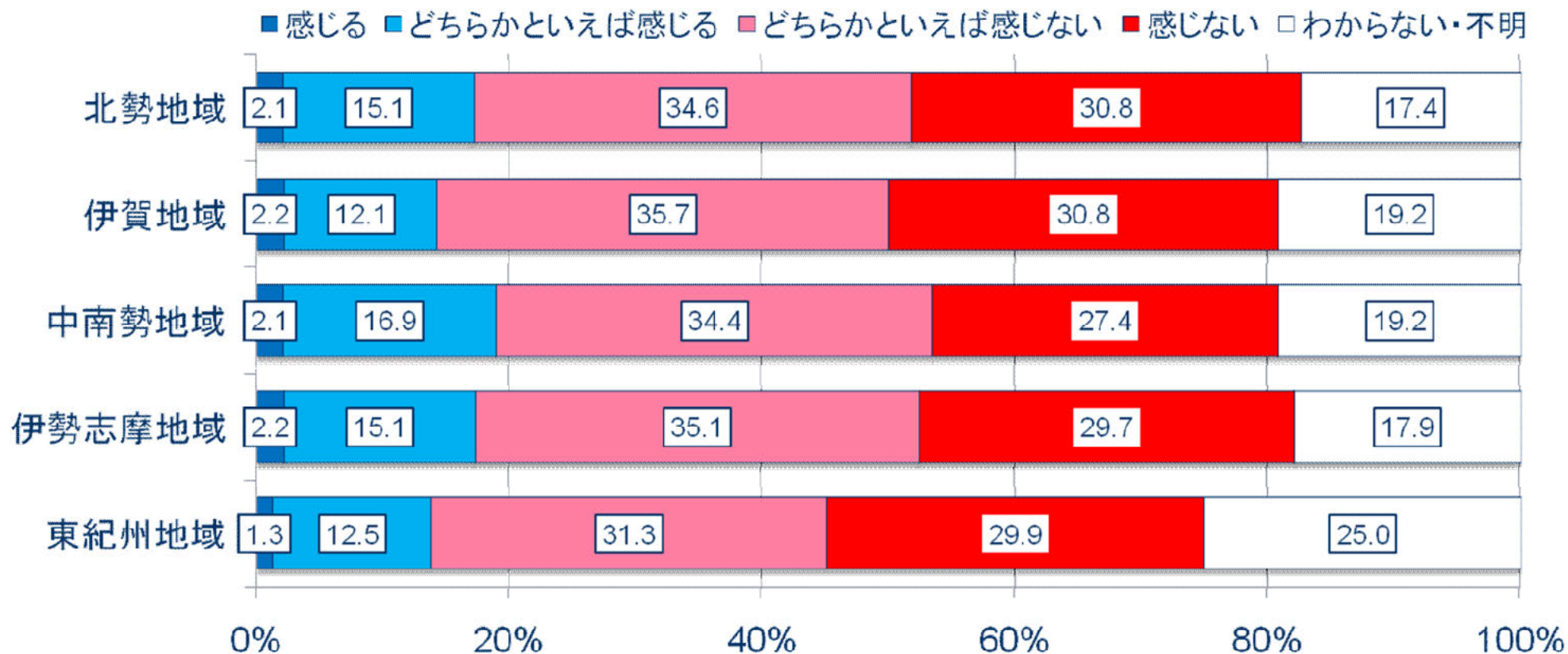


2-2 地域や社会の状況に対する実感

(4) 「実感していない層」の割合が高い項目(地域別)

③ 「国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいる」

- 全ての地域で実感していない層(感じない+どちらかといえば感じない)の割合が高く、特に伊賀で66.5%と最も高い。

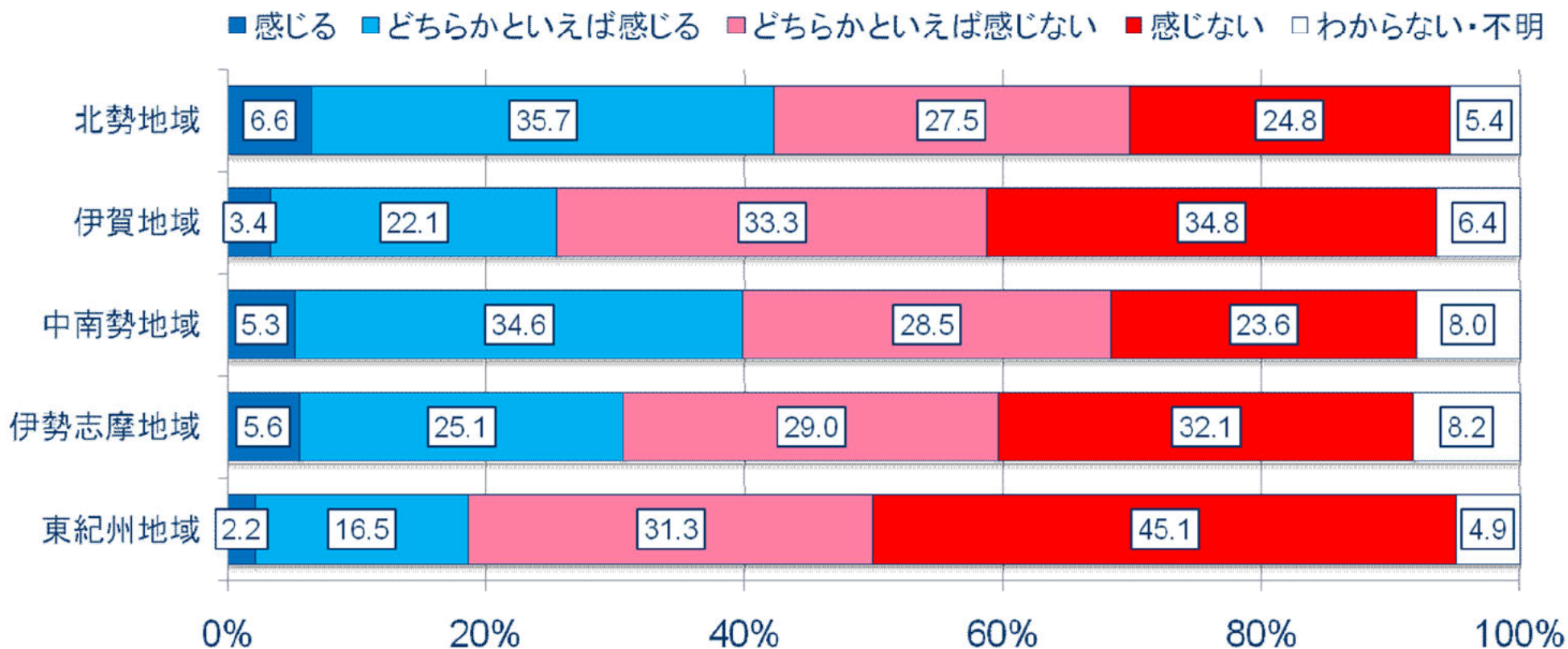


2-2 地域や社会の状況に対する実感

(4) 「実感していない層」の割合が高い項目(地域別)

④ 「道路や交通機関等が整っている」

- 全ての地域で実感していない層(感じない+どちらかといえば感じない)の割合が高く、特に東紀州で76.4%と最も高い。

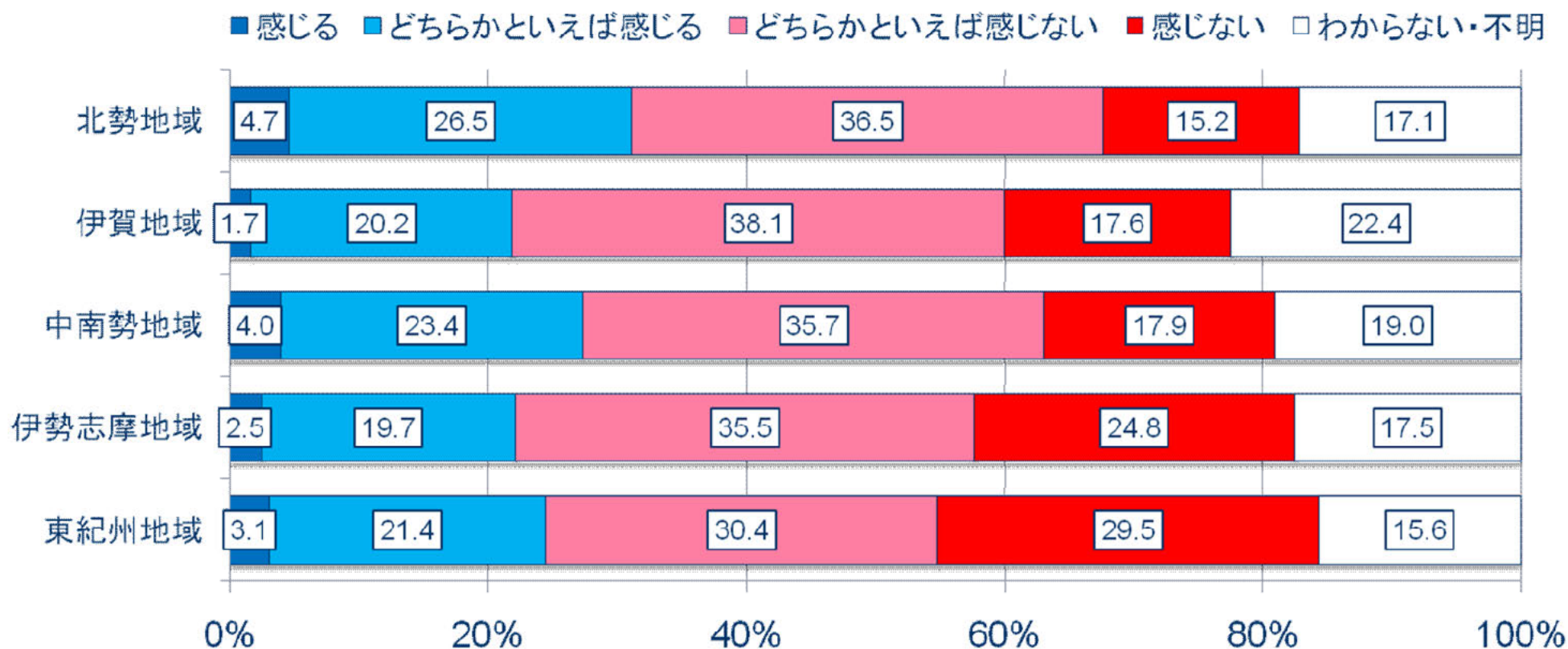


2-2 地域や社会の状況に対する実感

(4) 「実感していない層」の割合が高い項目(地域別)

⑤ 「県内の産業活動が活発である」

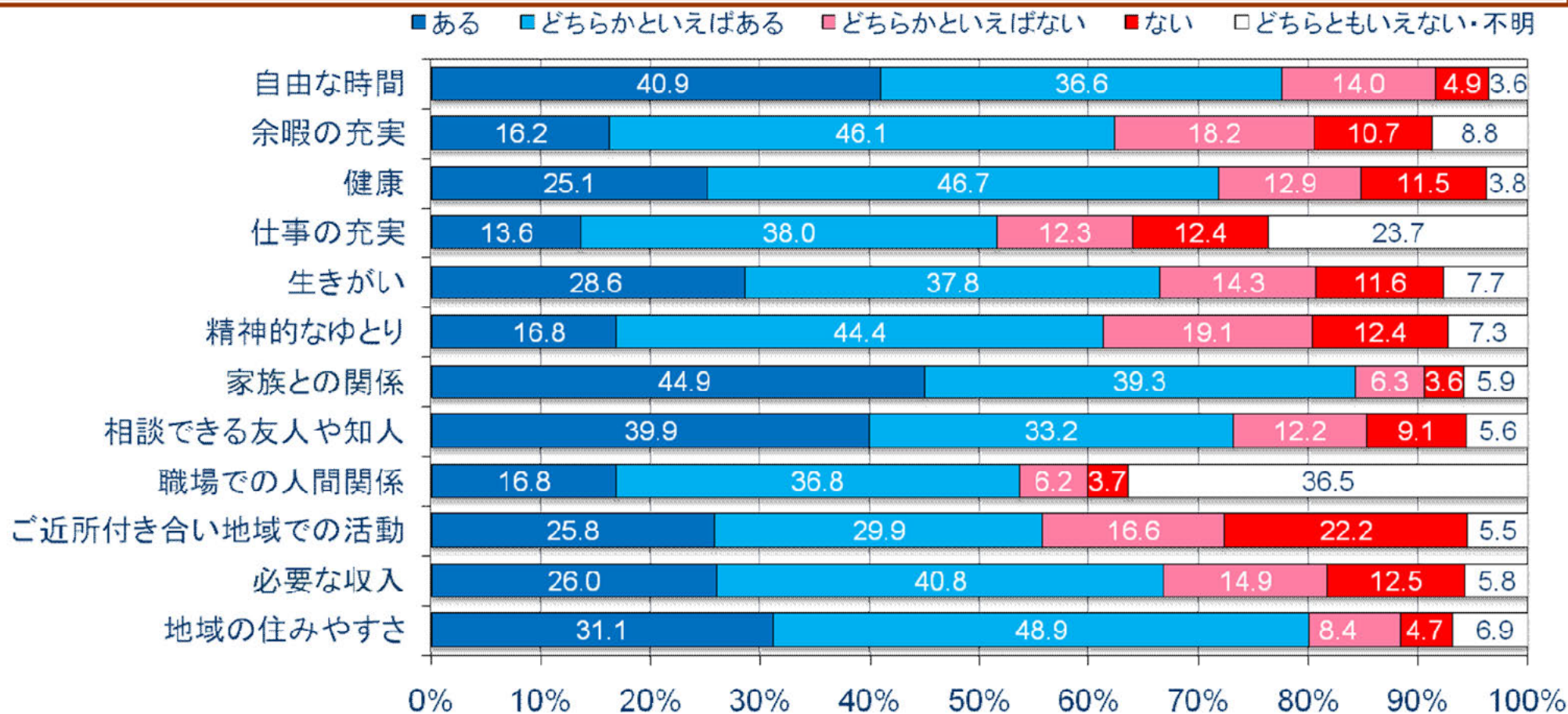
- 全ての地域で実感していない層(感じない+どちらかといえば感じない)の割合が高く、特に伊勢志摩(60.3%)、東紀州(59.9%)で高い。



2-3 日ごろの暮らしの実感

(1) 全体

- 日ごろの暮らしの実感についてみると、肯定的回答（ある＋どちらかといえばある）の回答は「家族との関係」（84.2%）が最も高く、「地域の住みやすさ」（80.0%）、「自由な時間」（77.5%）、「相談できる友人や知人」（73.1%）「健康」（71.8%）も7割以上と高い。



2-3 日ごろの暮らしの実感

(2) 地域別・・・①肯定的回答(ある+どちらかといえばある)

- 肯定的回答の割合を地域別にみると、全ての地域で「家族との関係」が最も高く、上位5項目は順位の違いはあるものの、同じ項目となっている。

地域	1位	2位	3位	4位	5位
北勢	家族との関係 84.3	地域の住みやすさ 81.2	自由な時間 77.3	健康 72.8	相談できる友人や知人 72.7
伊賀	家族との関係 84.1	自由な時間 76.8	相談できる友人や知人 73.5	地域の住みやすさ 72.7	健康 70.1
中南勢	家族との関係 84.7	地域の住みやすさ 81.7	自由な時間 76.8	健康 72.1	相談できる友人や知人 72.0
伊勢志摩	家族との関係 83.0	自由な時間 79.3	地域の住みやすさ 78.6	相談できる友人や知人 74.7	健康 68.9
東紀州	家族との関係 83.9	自由な時間 78.6	相談できる友人や知人 76.4	地域の住みやすさ 74.6	健康 70.6

2-3 日ごろの暮らしの実感

(2) 地域別・・・②否定的回答(ない+どちらかといえない)

・否定的回答の割合を地域別にみると、伊賀を除く地域で「ご近所付き合いや地域での活動」が最も高い。なお、伊賀では「余暇の充実」(32.9%)が最も高い。

地域	1位	2位	3位	4位	5位
北勢	ご近所付き合いや地域での活動 39.7	精神的なゆとり 31.3	余暇の充実 28.9	生きがい 26.4	必要な収入 25.7
伊賀	余暇の充実 32.9	ご近所付き合いや地域での活動 32.7	精神的なゆとり 32.5	必要な収入 30.5	生きがい 29.9
中南勢	ご近所付き合いや地域での活動 39.6	精神的なゆとり 31.2	余暇の充実 27.8	必要な収入 26.4	生きがい 24.2
伊勢志摩	ご近所付き合いや地域での活動 40.2	精神的なゆとり 33.6	必要な収入 31.4	余暇の充実 28.3	健康 27.8
東紀州	ご近所付き合いや地域での活動 34.4	必要な収入 32.6	精神的なゆとり 28.2	余暇の充実 27.7	生きがい 26.7